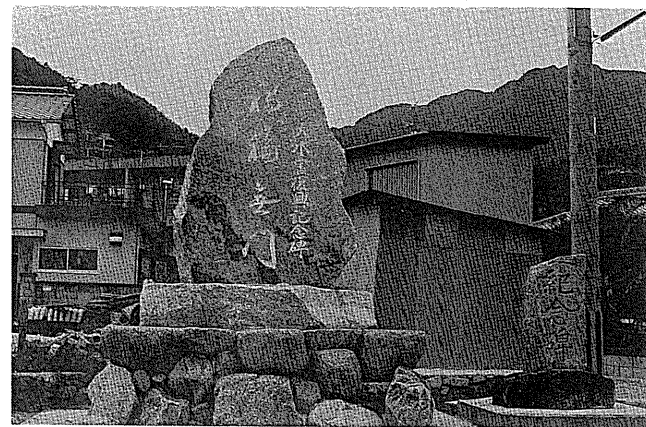


大
水
害
復
興
記
念
碑



1. 神懸通(西城)
2. 高二四二 巾一七七 厚一三三 台高三

大 水 害 復 興 記 念 碑

禍 福 無 門

(裏面)

昭和五十一年九月八日からの連日の降雨は一四〇〇ミ
リに及び小豆島東部に壊滅的な被害を与えた当西城地
区においても十一日には八一九ミリの集中豪雨となっ
て岩石樹木をともなつた山津波を起し平山池をも一
拳に決壊させ部落を直撃したほとんどの家屋が流出
埋没床上浸水を蒙り住居地帯への土砂の流入は二万立
方米にも及んだのである。その凄惨なる光景は大正七
年の災害をはるかに上回るものとなつた。この水害の
爪跡は国県町の巨費を投じての復旧事業建設業者の協
力地区民の奮起によつて三箇年の間に復興することが
できたのである。ここにこれを記念して碑を建て同じ
く被災した大正七年水害の断碑とともに永く後世に伝
えるものである。

昭和五十四年九月十一日

西城部落有志

復興記念碑



1. 馬木(真光寺境内)
2. 高二一〇 巾二二〇 厚五七 台高一〇〇

碑文

真光寺は、天正二年に建立され、四百年の永きに亘り浄土真宗開法の道場として先祖代々菩提寺として、法灯を護持して来た。昭和五十一年九月八日突如として台風十七号による集中豪雨に襲われ町内全域に山津波山崩れによる土石流、急傾斜の崩壊河川の決壊等により、多数の死傷者倒壊家屋浸水家屋など未曾有の大災禍となった。真光寺は御本堂北側の石垣が崩れ大伽藍が傾き屋根瓦がずれる等の大被害を蒙り檀家一同絶望と不安で茫然自失していたが、阿弥陀さんのご慈悲に纏り勇氣づけられ小豆島一円全門信徒が立ちあがり総事業費七阡万圓の巨費を投じ、三ヶ年計画で石積み工事御本堂の基礎屋根瓦の葺き替え、内陣の補修などを完成し、昭和五十四年十一月落慶法要を営むことが出来たのでこれを記念して碑を建てて未来永劫に伝えるものである。

合掌

昭和五十五年九月

真光寺 住職 本郷 廣順

山本 望

門徒会員一同

復興記念碑

十二代住職 本郷 廣順

(裏面)

総事業費 金七阡万圓

基礎石積責任者

屋根葺替

内陣補修

碑文

竹本庄三郎

三枝茂一

坂下一夫

長松明治

住職 本郷 廣順

総代 故藤井庄太郎

山本 望

塩田辨治郎

山本秀登

山本森茂

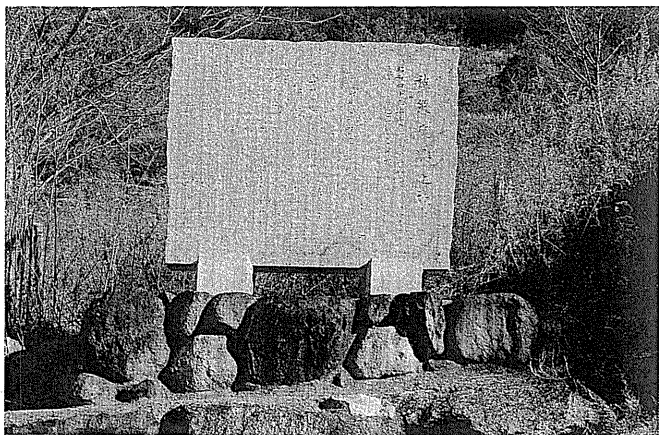
山本 勤

石材寄進者 山本昇一

石 大工 山本昇一

昭和五十五年九月

被災復興之碑



- 1. 苗羽(空条)
- 2. 高一二二六 巾一五九 厚三一 台高二二一

(表面)

被災復興之碑

昭和四十九年七月、五十一年九月の集中豪雨災害は、当地区にとって忘れることのできな
い出来事である。特に昭和五十一年九月の集
中豪雨は、継続雨量千四百ミリメートルに達
した、山津波は島内各地に起こり流木、土砂
は河川を埋没、決壊せしめ濁流は大音響と共
に一瞬にして流域の家屋、田畑を押し流すな
ど未曾有の猛威をふるい住民を恐怖の底に陥
れた、苗羽地区も人命の犠牲こそなかったが
被害は甚大であった、しかし国、県、町当局
の援助と当部落住民挙げての努力により中筋
川の大改修、林道の開通、治山治水砂防ダム
の精築、荒魂神社の改築など災害後の復興を
成し遂げるを得た

ここに記して後世への警告、指針としたい。

昭和五十六年九月十三日

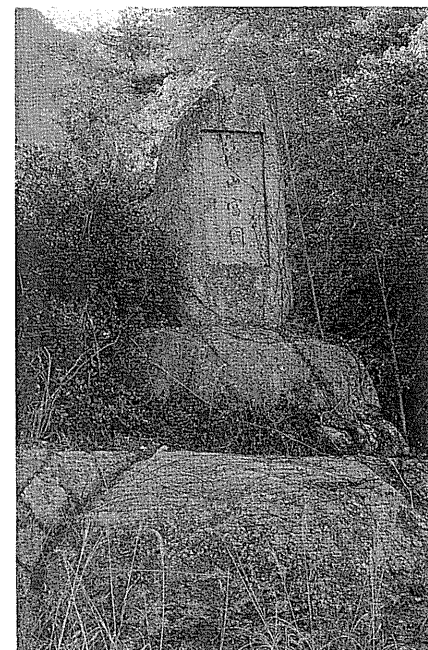
苗羽部落

(裏面)

災害復旧事業費

- 中筋川改修工事 七億五百万円
- 中筋ダム関連工事 二億九千三百万円
- 治山事業工事 一億五千二百万円
- 向条ダム工事 五千二百万円
- 合計 十二億二百万円

災害復旧砂防工事碑誌



1. 福田(岡山ノ神々社境内)
2. 高二三五 巾一〇二 厚五〇 台高一八
3. 昭和六年九月の大災害復旧工事完成記念の石碑である。碑は災害の中心地である山ノ神の社の横に、根石と思われる大石の上に被災地を見据えるように建っている。

(表面)

治山 富國

三土 忠造書

(裏面)

砂防工事災害復旧誌

昭和六年九月十八日豪雨ノ爲メ山津浪ヲ生シ伊豆川森庄川丹波川吉田川ヲ始メ河川ハ殆ント全滅シ爲ニ死者五名家屋ノ流失半壊併セテ七十棟耕地ノ埋失十四町歩ニ及ヒ其他道路橋梁ノ損害浸水ノ被害數フ可カラズ實ニ本村創始以來ノ惨害タリ而シテ之カ原因ハ主トシテ山地ノ荒廢ニ因ルモノニシテ將來ニ於ケル惨害ノ防止ヲ圖ルハ之カ復旧ニ依ルニテアルノミ而モ此事業タルヤ巨額ノ費用ヲ要シ一小村ノ克ク成スヘキ所ニアラス況ヤ一村災害ノ創夷ノ中ニ於テヤ爰ニ於テ村ハ縣當局ニ懇フルニ實情ヲ以テスルニ幸縣ノ答ル、所トナリ國費ノ助成ヲ得テ縣直管ノ下ニ事業執行ノ運トナリ昭和七年四月十二日着手工事主任トシテ香川縣農林技手原田保之氏人夫二百ヲ督シテ是ニ當ル中途同須田豐氏更ニ同岩間平治氏之レニ代リ昭和九年五月十五日工ヲ終ユ此期間二年ニカ月山腹ハ截リテ「ハゲシバリ」ヲ植ヘ溪間ハ堰堤ヲ設ケテ水路ヲ修ス総工費五万五千圓施業區域ハ近谷竿ヶ原ヲ始メ森滝シダ山及大字吉田奥山ニ亘リ其面積三十八町歩ニ及フ今回功成ルニ當リ以上概畧ヲ誌シ爰ニ本碑ヲ建ツルモノトス

昭和九年六月 福田村

木田郡丁高岡村

石工 平井源次郎